

市議会だより



糸魚川市庁舎前にて



糸魚川市行政視察
～ジオパークについて～
(平成26年 4 月 15 日)

小諸市との親善交流
～新庁舎等整備事業について～
(平成26年 4 月 15 日)



那須塩原市との親善交流
～那須野が原博物館～
(平成26年 4 月 16 日)

平成26年 3 月定例会一覧

○議案の審議結果				○委員会				○本会議（主な内容）				開会	閉会
予算（原案可決）	12件	14・27日	議会運営委員会	27日	追加提案	委員報告・質疑・討論・採決	追加提案	6日	会期の決定	提案理由説明	補足説明	3月6日	3月27日
条例（原案可決）	6件	17・18日	総務文教委員会	14日	提案理由説明	副市長の選任	提案理由説明	13日	代表質問・一般質問	一般質問	提案の委員会付託	3月27日	3月27日
その他（原案可決）	5件	24・25日	民生環境委員会	13日	議員提出議案	議員提出議案	議員提出議案	7日	補足説明	補足説明	補足説明	3月27日	3月27日
人事（原案同意）	2件		産業建設委員会	14日	提案理由説明・質疑・討論・採決	提案理由説明・質疑・討論・採決	提案理由説明	13日	代表質問・一般質問	代表質問・一般質問	代表質問・一般質問	3月27日	3月27日
議員提出（原案可決）	1件			14日	議員提出議案	議員提出議案	議員提出議案	13日	代表質問・一般質問	代表質問・一般質問	代表質問・一般質問	3月27日	3月27日
合計	26件			14日	議員提出議案	議員提出議案	議員提出議案	13日	代表質問・一般質問	代表質問・一般質問	代表質問・一般質問	3月27日	3月27日

議会を傍聴しませんか。次回の定例会は6月です。

平成26年度当初予算総額 213億9,616万1千円を可決 (前年度比較 2.3%の増)

3月定例会

市議会3月定例会は、3月6日から27日までの22日間の会期で開催されました。

審議した案件は、平成26年度一般会計予算をはじめ、平成25年度一般会計補正予算から条例等の市長提出議案23件（追加議案2件を含む）、議員提出議案1件、議員派遣及び閉会中の継続審査の合計26件です。

審議の結果、市長提出議案の23件は原案どおり可決または同意されました。また、議員提出議案の1件、議員派遣及び閉会中の継続審査につきましても原案どおり可決されました。

本会議

◇3月6日に本会議を開き、まず会期を27日までの22日間と決めた後に、平成26年度一般会計予算や平成25年度一般会計補正予算をはじめとした予算及び条例等の市長提出議案21件が一括上程され、市長から提案理由の説明がありました。

一旦、本会議を閉じ、全体委員会を開いて担当部課長から議案の補足説明がありました。（7日も補足説明）

◇13日、14日は代表質問及び一般質問が行われ、12名の議員が市政一般に対する質問及び提出案件に対する

質疑を行った後、市長提出議案を所管の各常任委員会へ付託しました。

◇最終日の27日には本会議を再開し、総務文教・民生環境・産業建設の各常任委員長から、それぞれの付託議案の審査結果の報告がありました。

次に、議案第2号に対する反対討論が1名の議員からありました。

分離採決の結果、議案第2号は、各常任委員長の報告のとおり賛成多数で可決され、その他の20議案は一括して採決され、各常任委員長の報告のとおり賛成全員で可決されました。

その後、市長から人事案件として、副市長の選任に石川忠志氏（北野）の選任、教育委員会の委員に伊東眞

氏（吾妻町）の任命が追加提案され、いずれも同意といたしました。

続いて議員提出議案1件の提案理由説明の後、採決を行い可決されました。

最後に議員派遣と閉会中の継続審査を議決して、3月定例会を閉会といたしました。

第1回臨時会

平成26年第1回市議会臨時会は、会期を2月24日の1日間と決めた後に、富山県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙が行われ、上田昌孝氏が当選しました。

続いて、「地方自治法第179条による専決処分承認を求めることについて」の市長提出議案1件が上程され、採決が行われ、賛成全員で承認されました。



日誌

26年2月

4日	市議会議員共済会代議員会 (東京都)
10日	県市議会議長会定期総会 (富山市)
14日	議会運営委員会協議会 定例議員協議会 産業建設委員会協議会 富山地区広域圏事務組合 議会議員協議会(立山町)
17日	富山地区広域圏事務組合 議会2月定例会(立山町) 議会運営委員会 公共施設のあり方 検討特別委員会協議会 県東部消防組合議会 全員協議会(魚津市)
20日	富山地区富山地域衛生組合 2月定例会(上市町)
24日	産業建設委員会協議会 全員協議会 第1回臨時会 総務文教委員会協議会 県東部消防組合議会 全員協議会(魚津市)
25日	県東部消防組合議会 2月定例会(魚津市)
27日	議会運営委員会 滑川中新川地区広域情報 事務組合議会2月定例会

3月

定例議員協議会

3日

3月定例会

6日

議会報編集委員会

4月

産業建設委員会協議会
定例議員協議会

10日

15日

15日

15日

21日

24日

北信越市議会議長会総会
(富山市)
(福井市)

議会報編集委員会

行政視察(糸魚川市)

姉妹都市親善交流訪問
(小諸市・那須塩原市)

議会報編集委員会

県日報友好議員連盟理事会

3月定例会では12名の議員が質問を行い、38項目について市当局の見解を求めました。質問と答弁の主な内容は次のとおりです。

一代表質問

(すべての質問等詳細を記録した会議録は、6月中旬頃までに、市立図書館に配付する予定です。ご利用ください。また、滑川市ホームページの市政情報には、議会会議録検索システムが搭載されておりますので、ご利用ください。)
 ※質問者の最後のQは、掲載外の質問事項です。

代表質問



- 1 防災・減災対策について
 - 2 新たな農業・農村政策について
 - 3 国民健康保険について
- (会派〓日本共産党議員団)

古沢利之議員

Q 文部科学省は平成25年度から8年間計画で、日本海地震・津波プロジェクトとして日本海の未調査領域を調査している。

志賀原発から約60キロメートル離れており、原子力災害対策重点区域には含まれていないが、原子力災害の特殊性を考慮して、必要な施策を計画に盛り込むことにした。

A 膳亀農林課長 米の直接支払交付金は平成25年度が1万5千円、26年度は7千500円とされた。試算すると約9千300万円の減収となる。収入確保のため水田活用の直接支払交付金、多面的機能支払制度の活用のほか、学校給食用野菜の栽培などで支援していきたい。

A 小幡総務部長 国では、これまでほとんど調査されていなかった日本海側の地殻やプレート構造を25年度から調べており、秋には魚津断層帯の調査が行われた。結果は25年度中にも公表ということだったが、少し遅れそうだと聞いている。

Q 中身がよくわからない。特段の対策はなくていいとなるのか。

A 上田市長 市長会などでこの問題を質問してきたが、県ははっきり物を言わない。今後もこの質問は続ける。

Q 市長の提案理由説明では「原子力災害対策について県との協議が整った」とあるが、具体的にはどういうことか。

Q 新たな農業・農村政策では、生産調整に参加している農家への米の直接支払交付金が、26年度は半額、5年後にはなくなる。市全体への影響をどう見ているか。また減額分をカバーするためにどう支援するか。

A 濱松市民課長 5月には平成25年度の繰越金や26年度の保険税もわかるので、一般会計からの法定外繰り入れも含め精査することとしている。

A 小幡総務部長 滑川市は

平成25年度は

平成25年度は

代表質問



1 土曜学習モデル事業について
2 図書館構想の現況について
3 田中小学校木造校舎の活用方針について
(会派Ⅱ市民クラブ) 水野達夫議員

Q 土曜学習モデル事業の内容はどうか。

A 石川教育長 通常の授業、補充学習、授業参観、校外学習、特別活動、学校行事等さまざまな活動を想定しており、学校ごとに独自のカリキュラムを組むこととしている。

Q 実施時期はいつか。

A 石川教育長 市内の小学校で一齐に実施したい。第1回目を5月10日とし、この後も第2土曜日に実施したい。

Q 土曜学習モデル事業を実施するにあたり、各種団体との調整はどうなっているのか。

A 石川教育長 現在、PTA連合会あるいはスポーツ少年団等の会合に出席して、事業の趣旨を説明し、日程等の調整もお願いをしている。

Q こども図書館の構想は今後どう進めていくのか。

A 上田市長 市民交流プラザ2階フロア全面を子育て支援機能を含めたこども図書館として整備する方向で計画している。今後、議会の意見などを伺いながら整備をしたい。

Q 既存図書館の全面見直しについての実施時期及び概要はどうか。

A 上田市長 新たに喫茶コーナーを設置したり、これまで図書館を利用されていない方が新たな利用者となり、多くの市民が集う明るく楽しい図書館となるよう、平成26年度中に基本構想を策定し、市民や関係団体の意見を踏まえ整備を図りたい。

Q 田中小学校木造校舎の利活用に向けた今後のスケジュールはどうか。

A 石川教育長 校舎が完成した後、木造校舎の一部解体と補強工事を行う。この後、記念館として利活用する。

Q 例えば木造校舎の一部を利用して、(仮称)キリン館として、常時活用することは可能か。

A 石川教育長 グッズの販売等は、運営面とかわるんな課題もあつて非常に難しい面もあるが、今後検討していきたい。

Q 利活用に関して、地域の方々も交えて意見交換を実施できないか。

A 石川教育長 多くのご意見をいただきながら整備していきたい。

その他の質問事項

Q 新年度予算編成方針及び「新しい4年間のお約束」の予算化方針について

A 石川教育長 多くの意見をいただきながら整備していきたい。

Q ほたるいかミュージアムの今後の展望はどうか。

一般質問



1 滑川市の観光について
2 安全な通学路について

Q 来年春開通の北陸新幹線開業に向け本市の観光はどうか。

A 網谷商工水産課長 ホタルイカ、海洋深層水、宿場回廊、剣岳等の自然・景観、及びものづくりのまち滑川、これら4つを北陸新幹線開業に向けての観光の柱とし交流人口増加を図りたい。

Q まちの魅力UPプロジェクト企画立案の進捗状況はどうか。

A 網谷商工水産課長 キラリンを活用した庁用車のラッピング、キラリン散歩の実施、車両後部に張りつけるセーフティサインの作成。これらの施策を展開することで、滑川市の魅力アップを図りたい。

Q ほたるいかミュージアムの今後の展望はどうか。

A 網谷商工水産課長 施設を適正に維持管理するとともに、滑川市観光検討委員会において提案された施策等についても実施に向けて取り組んでいきたい。年間を通して観光客の集客を行うことができる施設となるよう創意工夫したい。

Q 絵本には物語がある。子どもたちからストーリーを募りシリーズ化していく。また、キラリンを通して滑川の歴史、魅力を絵本で伝えていきたい。キラリン絵本化はどうか。

A 上田市長 非常にいい提案として受けとめた。検討したい。

Q 網谷商工水産課長 施設を適正に維持管理するとともに、滑川市観光検討委員会において提案された施策等についても実施に向けて取り組んでいきたい。年間を通して観光客の集客を行うことができる施設となるよう創意工夫したい。

Q 絵本には物語がある。子どもたちからストーリーを募りシリーズ化していく。また、キラリンを通して滑川の歴史、魅力を絵本で伝えていきたい。キラリン絵本化はどうか。

A 上田市長 非常にいい提案として受けとめた。検討したい。

Q 滑川市の通学路の安全対策箇所、進捗状況はどうか。

A 坂口学務課長 昨年12月に学校関係者等の各関係機関と合同で通学路の点検を実施したところであり、今回の点検の結果を受け、柳原新町交差点における歩行者分離信号の設置などの対策をとったところである。

Q 人通りが少なく見通しの悪い箇所の対策として、不審者対策教育の徹底となっているがどのような内容か。

A 坂口学務課長 小学校ではふだんから不審者対策として、遭遇した場合の対応について、大声を出して助けを求める、人のいるほうへ逃げる、防犯ブザーを携帯する等の指導を行っている。

青山幸生議員



議会で使用した絵本の見本

一般質問



原 明 議員

- 1 地球にやさしいまちづくりについて
- 2 特色ある学級づくり推進事業について
- 3 農林業の振興について

Q 滑川市には、E.V、プラグインハイブリッド車

対応の急速、普通充電器の設置がないが、設置に向けての考えはないか。

A 下野生活環境課長 地球

温暖化問題への対応が求められる中、電気自動車やプラグイン車が注目されている。県は、富山県

次世代自動車充電インフラ整備ビジョンを平成25年度に策定しており、滑川市では、滑川インターチェンジ周辺と道の駅ウエーブパークなめりかわ周辺の2カ所、市役所、スポーツ・健康の森公園など面的整備として9カ

所を計画に盛り込んでおり、電気自動車の今後の普及見込みを判断し、設置に向けて検討していきたい。

Q 特色ある学校づくり推

進事業実施から一年。取

り組まれた内容と成果、

26年度への取り組みは。

A 坂口学務課長 地域や保

護者と連携した立山登山や、自主的な学習会の開催、学校独自の学習プログラムの作成、地域人材を活用した地域の学習など実施している。各学校と

も多くの子童・生徒が参加し、学力向上や地域との連携の強化など一定の成果があったと考えており、26年度も引き続き実施していきたいと考えている。

Q 米の直接支払交付金の減額、飼料用米への支援強化、農地中間管理機構の制度化、多面的機能支払交付金の創設などが行われる中、農家の皆さん

が混乱しないような適切な情報提供と周知をお願い

したい。

A 膳亀農林課長 市では、

農業現場に混乱が生じないように、今回の改革の内容について周知するため、2月25日に西地区コミュニティホールにて説明会を開催している。

Q 滑川市での松くい虫、

松枯れの被害状況は。

A 膳亀農林課長 海岸沿いの

松林で松くい虫による被害が発生しており、吉浦地内では、7・74立方メートルを確認している。松くい虫だと特定してないが、荒俣、高塚地内で枯れた木が25立方メートルを確認している。

※立方メートルは木材の計量単位で、材積を測定する方法は、素材の日本農林規格（JAS）によって定められています。

（例）末口14cmで長さ4mの丸太10・078m

一般質問



角川 真人 議員

- 1 高齢者の交通事故対策について
- 2 生活保護世帯への就労支援について
- 3 介護保険について

Q 近年の交通事故において高齢者の割合が高くなっ

ている。事故防止のためにどのような取り組みを行うのか。また、これまでどのような運動を行ってきたのか。

A 下野生活環境課長 昨年

の県内での交通事故による死者数は53名でそのうちの60%が65歳以上の高齢者だった。夜間・早朝に事故が発生しやすいため高齢者を対象とした交通安全教室に加え、高齢者の利用が多い銭湯や病院などで反射たすき、反射材の配布を行なっている。高齢者ドライバーの事故を防ぐため運転免許証を自主返納された場合にバスのフリーパスを交付している。

Q 自主返納の際に交付されるフリーパスの期限が

3年というのは短い。もう少し長くできないか。

A 下野生活環境課長 予算

に伴う話なので検討する。

Q 生活保護の受給者は滑

川市でも増え続けている。働ける世代の方でも失業に伴って相談に来られることも多いと聞くがどのくらいおられるのか。

A 藤田福祉介護課長 平成

26年1月の時点で74世帯84名、稼働年齢層といわれる15歳以上65歳未満にあたるのは43名となっている。

Q 派遣切りなどによる若年層の失業者に対してどのような支援を行っているのか。

A 藤田福祉介護課長 平成

26年度に県や近隣の市町村と共同で生活困窮者からの相談窓口を設置し、相談・就労支援などを専門的に行うモデル事業を実施する予定となっている。

Q 要支援者に対する介護

予防給付について、介護保険財政を活用した地域支援事業の中での実施で対応可能なのか。

A 藤田福祉介護課長 地域

支援事業に対する財源については詳細が示されておらず、従来どおり財源が確保されるよう県や市長会を通じて国に要望する。

Q 費用及び人的に厳しい、事業所との共同を不安がっている声もあるが滑川市ではどう取り組むのか。

A 藤田福祉介護課長 財源は確保されると考えている。事務的な関係は市内の事業所などで対応できると考えている。

一般質問



1 シャンバーグ市との姉妹都市交流事業について 2 滑川市における観光事業について

谷川 伸治 議員

Q シャンバーグ姉妹都市交流事業についてどの程度検討しているか。

A 嶋川生涯学習・スポーツ課長

中学生のシャンバーグとの交流は進めていきたいので、準備をして万全の体制で進めていきたいと考えている。

Q 相互交流については、どのような考えか。

A 嶋川生涯学習・スポーツ課長

一方通行ではなく相互交流ができればと思っている。例えば1年ごとであれば同じ年代が行きづらいで、トータルでどういう形が望ましいか検討している。

Q 派遣対象者及び派遣人数についてどう考えているか。

A 嶋川生涯学習・スポーツ課長

継続的に進めることにすると、生徒を10名程度

とか、音楽関係など専門分野の交流、当然財政的なことも含め総合的に検討している。

Q 現地の学校との交流を考えると夏休みの期間に難しいが、研修時期に關してどう考えているか。

A 嶋川生涯学習・スポーツ課長

姉妹都市の同年代の人と交流できる形が望ましいので、学校行事との兼ね合いを調整し、派遣時期を検討している。

Q ほたるいか海上観光の乗船客の85%以上が県外からのお客様である。本年度は民間と連携して新しいおもてなしの企画が必要ではないか。

A 網谷商工水産課長

ホタルイカの釜揚げのおもてなしは4月26日から実施し、若干の拡大を考えている。観光客からホタル

イカ等海産物以外のお土産品の販売について要望があるので、今後検討していきたい。

Q ほたるいかミュージアムの現状と今後の取り組みについて、ホタルイカ発光ショーを実施する3月から5月の3カ月間

年間の60%以上の来館者となっている。「ひかりの街なめりかわ」をアピールするために発光器を有する生物に特化し、魅力あるミュージアムにすべきではないか。

A 網谷商工水産課長

発光器を有する生物の展示について、今後充実させていきたい。今後発光生物も関係機関と連携して研究し、「ひかりの街なめりかわ」をPRしたいと考えている。

一般質問



1 市民の安全・安心について 2 産業の振興について 3 教育文化の向上について

中川 勲 議員

Q 東日本大震災から3年が経過。震災の教訓を生かし、まちづくり、学校教育、地域社会において自然災害の対策が必要とされるが今後の取り組みを問う。

A 小幡総務部長

未曾有の複合災害を教訓に、市民の生命と財産を守ることが最優先にした防災対策を今後も行い、あらゆる被害を想定し安全で安心なまちづくりに向け緊張感とスピード感を持って取り組む決意である。

Q 防犯カメラが交通事故や事件において、その解明に有効であるとともに犯罪防止に有効であると言われているが、市内で設置しなければならぬところがあるのでは。

A 下野生活環境課長

市内の犯罪発生状況等を勘案

しながら、滑川警察署など関係機関と協議のうえ必要な箇所を見極めて設置を検討するとともに銀行やコンビニなどに設置してある民間の防犯カメラも活用し、市民の安全・安心を守るために努力をする。

Q 企業団地の造成による企業誘致の推進とあるが、予定があるのか。

A 網谷商工水産課長

企業誘致を行うための工業団地候補地の選定作業を進めている。現時点で新規の企業進出の問い合わせはないが、事前に工業団地を造成して企業誘致の営業を行う。

Q 北陸新幹線開業に合わせ観光客が滑川を訪れる交流人口は、滑川市の人口増と変わらないぐらいの経済効果があると思う

A 坂口学務課長

防止に關する基本的な考え方、実施すべき施策、重大事態への対応等を盛り込み、各学校はそれをもとに年度内に基本方針を策定し、市の方針とあわせて平成26年4月より運用する。各学校において、基本方針を年間指導計画の中に掲載するホームページ、学校だよりで公開する。

が市内観光のあり方をどう考えているのか。

A 網谷商工水産課長

北陸新幹線開業を観光振興の絶好のチャンスと捉え、今後、滑川市観光協会や市内の旅行業者とも連携を図りながら、観光資源を積極的に組み入れ、広くPRを行っていきたい。

Q いじめ防止基本方針が策定されたがどのような内容か。

A 坂口学務課長

防止に關する基本的な考え方、実施すべき施策、重大事態への対応等を盛り込み、各学校はそれをもとに年度内に基本方針を策定し、市の方針とあわせて平成26年4月より運用する。各学校において、基本方針を年間指導計画の中に掲載するホームページ、学校だよりで公開する。

一般質問



尾崎 照雄 議員

- 1 地域包括ケアシステムについて
- 2 防災士について
- 3 子ども政策について
- 4 防犯灯・街灯のLED化について

Q 本市において2025年問題をどのように受け止めているのか。

A 藤田福祉介護課長 介護

に対するニーズや家族形態の変化、高齢者の実態、課題を把握し、介護保険事業計画策定委員会の中で介護サービスのあり方について検討いただくこととしており、2025年に向けた体制の整備に努めてまいりたい。

Q 24時間対応の定期巡回、随時対応型訪問介護・看護サービスの展望はどうか。

A 藤田福祉介護課長 第6

期介護保険事業計画の策定に際し実施することとしている日常生活圏域ニーズ調査の中で、サービスに対するニーズや課題を把握し、計画の策定委員会や地域密着型サービス

運営委員会において検討していきたい。

Q 防災士について、補助

制度も含めて、具体的にどのような目標、計画で進めていくのか。

A 岡本総務課長 資格取得

には5万3千円経費がかり、本人負担は1万円、残りは県と市が半分ずつを助成するという制度になっている。防災士を増やしていくことはもちろんであり、各地区によつては一人もいない地域もある中で、重点的に周知をしていき、地区に最低でも防災士がいるように

Q 地域へのPR活動はど

ういうことを考えているのか。

A 岡本総務課長 ホームペ

ージ、市の広報のほか、個人的にお願いをしている。

Q 小中学生を対象に夜間

照明、体育館の使用、文化部の大会前のホール使用の無料化をいつから始めるのか。

A 折田教育次長 6月の補

正で対応してまいりたい。

Q 防犯灯・街灯のLED

化について、本市も早急に取り組むべきと考えるが、見解は。

A 岩城建設課主幹 最終的

には全てのLED化を図りたいと考えているが、一括では既存照明器具の

Q 市税の収納率を上げる

取り組みは。

A 大澤税務課長 平成23年

4月に市税等徴収対策室を設置し、滞納繰越分を重点的に収納率の向上に努め、訪問徴収だけでも今年度直近で5千万円ほどの徴収を得ている。

Q 来年度より市内の小中

学校において土曜学習モデル事業が実施されるが、こういった事業を推進するには各学校の先生方、そして保護者に内容の説明をし、しっかりと議論してから取り組むべき。

A 石川教育長 説明が全

て終わっているとは考えていない。この後保護者への周知も、子どもたち一人ひとりに市から文書等を渡して理解していただく。途中の検証もしっかりと進めながらこの事業

Q 小学校の英語学習が導

入され、低学年から慣れ親しむ環境が必要と考えるが今後の展望は。

A 坂口学務課長 平成21年

度から各学校5、6年生が外国語活動を行っている。担任、ALT、英語活動支援員が連携しながら取り組んでいる。

Q 英語活動支援員は外国

人講師が適任である。外国人講師を地元の人で探そうという気はあるのか。

A 石川教育長 教育委員

会としても遺漏のないよう取り組んでいきたい。

Q 市内のスポーツ施設を

十分に活用し、競技力向上にどうつなげるのか。

A 嶋川生涯学習スポーツ課長

今後幼児期からの運動習慣を踏まえ、体育協会、スポーツ指導員が

中心となり競技力、体力の向上に努めていく。

Q 有磯海サービスエリア

「ぶらっとパーク」への進入路の整備は。

A 網谷商工水産課長 市と

しても改良工事が行われるよう働きかけていく。

Q コミュニティバスを冬

期ダイヤに短期間切りかえるなど、学校や駅まで通う学生に配慮できないか。

A 下野生活環境課長 限ら

れた台数のバスで運行しており対応が難しい。

Q 最近の特殊詐欺の問題

について滑川市の取り組みは。

A 下野生活環境課長 被害

の未然防止に向け、滑川警察署など関係機関と連携して、市民の安全・安心を守っていきたい。

一般質問



竹原 正人 議員

- 1 市税の収納状況について
- 2 子どもたちの学力向上について
- 3 スポーツの競技力向上について
- 4 観光振興について
- 5 地域の安全・安心について

一般質問



1 防災対策について
2 コミュニティバスについて
3 市長のマニフェストから

開田 晃江 議員

Q 人の集まる場所、学校、幼稚園、保育園、市役所などに防災士を順次配置できないか。

A 岡本総務課長 滑川市は現在防災士が14名である。

人の集まる場所に一人配置は理想と思うがこの後順次進めていくことになる。

Q 滑川市の災害協定はどんなところと結んであるか。

A 岡本総務課長 県内、企業等は逐次結んでいる。

Q 姉妹都市との関係は。

A 岡本総務課長 平成7年に長野県の小諸市と災害時相互支援協定を結んでいる。

Q バスの運行計画策定に際し、乗務員など現場の声を聞くべきでは。(ゆとりが第二)

A 下野生活環境課長 運行

業務を委託している業者

の運転手からも要望や意見をもらっている。安心・安全な運行を実施するため連携を深めていく。

Q バスにキラリンのラッピングとあるが、特色のあるものに。

A 下野生活環境課長 予算は30万円、子どもや家族連れといった今まで比較的利用が少ない方に愛着をもってもらい、バスを利用してもらいたいと考えている。内容は今後検討を進めていく。

Q 第3子の保育料の無料化はいつからか。

A 砂田子ども課長 保育所に入所している児童は4月から6月までは暫定額を徴収し、確定は7月であるが、無料化の対象は平成26年4月までさかのぼることにより26年度当

初からの無料化としたい。

幼稚園の保育料無料化も26年4月からと考えているが、実施方法については幼稚園と十分協議していく。

Q スポーツ少年団の会場使用料の無料化は。

A 嶋川生涯学習・スポーツ課長 7月とか、できるだけ早い時期に実施したい。

Q シャンバーグの派遣を平成26年度から実施できないか。

A 嶋川生涯学習・スポーツ課長 事前研修とかなり回数を行うが、マニフェストに掲げている事業であり、早期に実施できるようにしていきたい。

Q いをのみ公園の一角に喫茶コーナーを。

A 上田市長 民間で元氣な方にやってもらいたい。

A 上田市長 民間で元氣な方にやってもらいたい。

一般質問



1 北陸新幹線開業を見据えた取り組みを！
2 「子ども・子育て支援事業計画」の策定について
3 まちと産業を元気にするために

高木 悦子 議員

Q 滑川市の玄関口である滑川駅におり立った景色が観光客を迎え入れる状態になっていない。

A 網谷商工水産課長 サイ

ンボードの更新や駅内の観光PRの方法を検討しながら顔づくりを行う。

Q 地鉄中滑川駅に隣接する農協会館等の跡地活用について、滑川市としての考えを持っているか？

A 小幡総務部長 具体的な計画はない。民間活力を利用し、にぎわい創出、地域交流のコミュニティスペースなど、状況に応じて考えていきたい。

Q 他の自治体と連携した滑川市を県外にPRする体制は整っているか？

A 網谷商工水産課長 新川地域観光開発協議会と富山湾・黒部峡谷・越中にかわ観光圏協議会の2

つに参画している。

Q 経済界が中心となり今秋に「日本ジオパーク」の認定に向けて活動を進めている「立山黒部ジオパーク構想」に、滑川市だけが協力的ではないと聞いているが、協力できない理由は何か？

A 上田市長 とめているのは私だ。にいかわ観光圏で協力と言っているが、黒部宇奈月が中心で、滑川にメリットがない。

Q 庁内で、参加する、しないということに関して協議をしたのか？その協議の過程を聞きたい。

A 上田市長 協議はしていない。(後日改めて、参加を決定。)

Q 核家族化と共働き世帯が増え、ワーク・ライフ・バランス抜きの子育て支援はありえない。市内企

業の取り組みの現状は？

A 砂田子ども課長 現在把握できていない。

Q 企業内の保育施設の助成を使った企業は、滑川市内にあるか？

A 網谷商工水産課長 活用された事例はない。

Q 子ども・子育て支援事業計画策定に、企業経営者に協力が得られる制度を盛り込んでほしい。

A 砂田子ども課長 計画には「労働者の職業生活と家庭生活の両立を図るために必要な雇用環境の整備に関する施策と連携」という点を盛り込む。

Q 女性や若い人の中に起業の機運がある。市として起業を支援する体制は整っているか？

A 網谷商工水産課長 起業

者向けの滑川市SOHOセンターがある。

一般質問



1 市長の政治姿勢について
2 子ども・子育て支援法について
3 教育・文化の向上について

中島 勲 議員

Q 今後4年間、市政をつかさどる中で市長の思う善政とは何なのか。

A 上田市長 私は市民が真ん中の市政をキャッチフレーズにしており大衆の真ん中に真理あり、これが善政のもとであり中道である。市民が求める市政を忠実にやる、偏ったグループとの特別な関係で市政を行っていくことがないのが善政と思う。

Q 子ども・子育て支援法について、事業計画を策定するにあたってのスケジュールは。

A 折田教育次長 平成24年8月に成立した子ども・子育て関連3法に基づき支援制度が平成27年4月からスタートし、新制度の移行に先立って国の基本方針に即し平成27年から31年度の5カ年計画を

策定しなければならない。

本市においても平成26年度末までに策定するため準備を進めている。策定にあたって昨年の10月末から11月にかけてニーズ調査を実施した。25年度中に調査の分析結果が出るので市における幼児教育や保育についてどのような施設・サービスをどのくらい、いつまでに整備・実施していくか定めたい。

案について調査・審議をしていくため、保護者・各関係機関の代表者・学識経験者等15名で構成する滑川市子ども子育て会議を設置した。今後意見をいただきながら事業計画の策定を進めていく。

Q 教育的配慮を要する児童・生徒に対する支援制度について、スタディ・メイトの実情と課題があ

るとすればどのようなことか。

A 坂口学務課長 小学校7校・中学校1校に計20名配置している。各学校には支援が必要な児童・生徒は増加傾向にある。各学校の必要性は児童・生徒によつては大変異なっており配置の難しさもあるが、状況を的確に把握し適切な配置を行っていくきたい。

Q 通級指導の現状と課題は何か。

A 坂口学務課長 小学校6校に開設し、2人の教員で35人の児童を指導しているが、希望する児童も増えているので、指導時間の確保が困難な現状から、3人で行えるよう県と協議をしている。

委員会

3月定例会の委員会の審査から

3月定例会の各委員会では、付託された議案について慎重に審査が行われました。主な項目等は次のとおりです。

総務文教委員会

審査議案は9議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

▼ 議案第2号 平成26年度滑川市一般会計予算

▼ 議案第10号 平成25年度滑川市一般会計補正予算(第5号)

◆ 議案第14号 市長の給与の特例に関する条例の制定について

◆ 議案第15号 市長の退職手当の額の算定に用いる給料月額の特例に関する条例の制定について

◆ 議案第16号 滑川市の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

◆ 議案第17号 滑川市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

◆ 議案第19号 滑川市社会教育委員設置条例の一部を改正する条例の制定について

◆ 議案第21号 富山地区広域圏事務組合規約の変更について

◆ 議案第22号 富山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について

民生環境委員会

審査議案は6議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

▼ 議案第2号 平成26年度滑川市一般会計予算

▼ 議案第3号 平成26年度滑川市国民健康保険事業特別会計予算

▼ 議案第4号 平成26年度滑川市後期高齢者医療事業特別会計予算

▼ 議案第5号 平成26年度滑川市介護保険事業特別会計予算

▼ 議案第10号 平成25年度滑川市一般会計補正予算(第5号)

▼ 議案第11号 平成25年度滑川市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

産業建設委員会

審査議案は10議案であり、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

▼議案第2号 平成26年度滑川市一般会計予算

▼議案第6号 平成26年度滑川市下水道事業特別会計予算

▼議案第7号 平成26年度滑川市農業集落排水事業特別会計予算

▼議案第8号 平成26年度滑川市工業団地造成事業特別会計予算

▼議案第9号 平成26年度滑川市水道事業会計予算

▼議案第10号 平成25年度滑川市一般会計補正予算(第5号)

▼議案第12号 平成25年度滑川市下水道事業特別会計補正予算(第3号)

▼議案第13号 平成25年度滑川市水道事業会計補正予算(第2号)

▼議案第18号 滑川市定住促進住宅条例の一部を改正する条例の制定について

▼議案第20号 不動産の取得について

姉妹都市 親善交流

(4月15日～17日)

市議会は、小諸市議会・那須塩原市議会へ4年に1度表敬訪問して、交流を深めるなど、お互いの絆を大切にしています。

◆長野県小諸市

(4月15日訪問)

◎昭和49年4月25日「福祉都市の実現」を共通テーマに、姉妹都市の盟約を結び、提携後は、市民を中心とした団体交流を柱に友好を深めます。

小諸市役所の会議室において、平成26年3月から建設が開始された小諸市の庁舎・図書館・コミュニティスペースを一体的に整備する「新庁舎等整備事業」について、説明を受けました。

庁舎等の完成後には、引き続き厚生総合病院の整備に着手し、両施設でエネルギーの相互利用及び共同でエネルギー供給サービス(E.S.)事業も導入される予定となっています。

また、マンズワイン小諸ワイナリーにおいて工場見学を行い、熟成庫などを巡りながら、小諸ワイナリーの概要などについて説明を受けました。



マンズワイン小諸ワイナリー

◆栃木県那須塩原市

(4月16日～17日訪問)

◎明治から大正にかけて、多くの滑川出身者が開拓のため栃木県那須野が原に入植し、本市の血縁者が多数活躍していることから、平成8年4月15日に西那須野町と姉妹都市の盟約を結びました。その後、市町村合併により那須塩原市となったので、平成18年3月24日、那須塩原市と姉妹都市の盟約を結んでいます。



那須塩原市 議場

那須塩原市役所の議場において、平成26年6月議会から運用される議会中継映像インターネット配信について説明を受けた後、開館10周年を迎え、常設展示のリニューアルが行われた「那須野が原博物館」において、日本3大疎水のひとつ那須疎水の取入口(国指定重要文化財)のほか、開拓の歴史について解説を受けました。

企画展では那須野が原で明治時代に華族によって創設された農場の紹介や、農機具などの展示もあり、認識を深めました。

また、カゴメ那須工場において工場見学を行い、野菜原料処理、缶・ペットボトル・紙パック飲料の製造工程などについて説明を受けました。

行政視察

◆新潟県糸魚川市

(糸魚川ジオパーク)

(4月15日)

◎糸魚川世界ジオパークは、2009年8月、日本で初めての「世界ジオパーク」に認定されており、日本を東西に分ける大地の境目・フォッサマグナを中心に地質学的に珍しい土地や鉱物を見ることが出来る。糸魚川市内にはヒスイ海岸など、24のジオサイト(地質や歴史・文化を感じることが出来る場所)があり、それらを巡り、また住民が自ら学ぶことで、地域の活性化につながっている。◇地域の「お宝」を磨いて、地域の住民が自信と誇りを持つことによって、外から人が来る観光の取り組みを、ジオパークを通じて進めている。



◆ジオパークとは

美しい自然景観や価値を持つ地層を用いて、その土地や地球の成り立ちを知り、それらとの関わりを楽しく正しく学び、感じることが出来る自然公園です。よく似たしくみに、国立公園や国定公園などがあります。現在、日本では世界ジオパークに認定されているのは糸魚川を含む6地域です。

富山県でも、日本ジオパークの認定を目指す「立山黒部ジオパーク推進協議会」があり、滑川市も3月にその支援に向け、活動推進協定書に調印しました。

議会事務局長の異動

4月1日付けの人事異動に伴い大澤義信局長が着任されました。

キラリンのひとくちメモ



第3回は、誌面の都合上、お休みいたします。

会派の結成

会派名 日本共産党議員団

(結成日 平成25年11月28日)

代表者 古沢 利之

所属議員 角川 真人

会派名 市民クラブ

(結成日 平成26年2月26日)

代表者 水野 達夫

所属議員 尾崎 照雄

会派名 会派自民

(結成日 平成26年4月1日)

代表者 中川 勲

所属議員 高橋 久光

中島 勲

岩城 晶巳

原明

会派名 自民クラブ

(結成日 平成26年4月1日)

代表者 浦田 竹昭

所属議員 高木 悦子

谷川 伸治

議会放送と録画放送等のご案内

市議会定例会の本会議の様子は、ケーブルテレビ121チャンネル(アナログは8チャンネル)で、生放送及び録画放送を実施しております。次回の市議会定例会の本会議の放送は、6月に予定しておりますので、是非、ご視聴ください。

なお、定例会の日程及び放送時間等については、市広報(6月号)・ケーブルテレビ等を通じてご案内します。



議会報編集委員会から

「市議会だより」について、皆さんのご意見をお寄せください。市議会の本会議は、ケーブルテレビで放送しておりますが、議場で直接、傍聴してみませんか。詳しくは、事務局までご連絡ください。

電話475-2111(内線371)

議会報編集委員

高橋久光委員長 谷川伸治副委員長

角川真人委員 竹原正人委員

尾崎照雄委員 中島 勲委員

3 月定例会での①議員提出議案、②意見書提出要請、③要望書について

件 名 及 び 提 出 者

処 理 結 果

① 議員提出議案（1 件）

- 1 議員提出議案第 1 号 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

.....本会議結果＝可決

滑川市議会議員 高 橋 久 光 外 5 名

② 意見書提出要請（2 件）

- 1 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

.....議会運営委員会一致

北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する富山県市議会議員連盟

(議員提出議案第 1 号へ)

会長 中 川 勇

- 2 住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書

.....議会運営委員会不一致

富山県国家公務員労働組合協議会 議長 松 井 勝 弘

③ 要望書（3 件）

- 1 平成26年度滑川市行政施策に対する要望について.....全議員へ参考配付

滑川商工会議所 会頭 斉 藤 慎 一

- 2 農業委員への女性の登用に関する要望書.....全議員へ参考配付

富山県女性農業委員の会 会長 宮 崎 勲 子 外 3 団体

- 3 これからの勤労青年教育のあり方に関する要望書.....全議員へ参考配付

日本青年団協議会 会長 立 道 齊

3 月定例会での本会議の結果について

議 案 内 容 等

採 決 結 果

- ◎議案第 2 号（分離採決）.....原案可決（賛成多数）

平成26年度滑川市一般会計予算

賛成者＝青山・竹原・尾崎・谷川・水野・高木・原・中島・浦田・開田・中川・高橋

反対者＝角川・古沢

- ◎議案第 3 号～議案第22号

平成26年度滑川市国民健康保険事業特別会計予算 外19件原案可決（賛成全員）

- ◎議案第23号 副市長の選任について原案同意（賛成全員）

- ◎議案第24号 滑川市教育委員会の委員の任命について原案同意（賛成全員）

- ◎議員提出議案第 1 号原案可決（賛成全員）

北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

第 1 回臨時会での結果について

議 案 内 容 等

採 決 結 果

- ◎議案第 1 号原案可決（賛成全員）

地方自治法第179条による専決処分の承認を求めることについて